

第50回

## 東京山桜会総会



平成19年6月9日(土)、神田の学士会館に於いて約80名の紳士淑女の会員が集まり盛大に行われました。大阪から22名参加されました。本当にありがとうございます。

今年は、東京山桜会の50周年記念にあたり皆様いつもよりちょっと袴を正されていました。50年の年月をかえりみて皆様学校と東京山桜会に感謝と祝福でいっぱいでした。あつという間の50年、長いようで本当に短い、短いようでいっくせない長い50年。半世紀がすぎました。偕行社の卒業生や追手門学院の大先輩の方々にとっては、感無量で参加されていたことでしょう。幼少から70代80代、90代になっていらっしゃるのですから。頭も白髪やハゲ頭の方々も人生をしみじみふり返られたでしょう。伝わってきました。追手門学院、偕行社を卒業され、社会に出られ東京や関東地方やその他の地方へ在住されても、同じ学校で教育され成長していった人々の集まりコミュニケーションの場として東京山桜会が発足して50年、素晴らしい50年。

追手門学院から大木令司理事長、鈴木多加史学院長、津田克彦校長から、祝福のご挨拶と追手門学院の近況を報告され、川原俊明会長から来年追手門学院120周年記念にあたりよろしくのご挨拶と助成金授与がありました。そして東京山桜会会長三宅彰氏[偕小49期]から新会長山本英二氏[偕小53期]へ会長交替の議決承認と紹介がありました。そして東京山桜会の50周年記念にあたり甲谷富佐子氏から50年の回顧談があり、「東京山桜会 五十年の足跡自1957年8月15日(S32)、至2007年6月9日(H19)」という小冊子や展示品(芳名帳や写真等、資料等)なども設置され、50年の年月をわかりやすく説明され、あつという間に50年経てきたことを感慨深くお話しされました。

小冊子の内容は、現在の東京山桜会の創立は、母校創設70周年の前年昭和32年に上田常隆氏を中心として山桜会再興の機運にあった大阪本部から、追手門学院教員の佐藤良和氏[偕小51期]が6月30日に上京して、東京支部結成の要望を皿井長四郎氏[偕小48期]ほかの在京有志に伝えたことが口火となりました。大阪から昭和32年8月15日夜(発足会)、30名の在京同窓生と上田常隆山桜会会長[偕小24期]、八束周吉学院長、片桐武一郎元小学校長、佐藤良和氏を迎えて「山桜会東京支部」の発足が決議され、支部長に緒方富雄氏[偕小25期](北浜の適々塾緒方洪庵の子孫)が推薦されて、世話人は粟屋龍太郎[偕小30期]、皿井長四郎、野口(斎藤)恭也[偕小48期]の三氏となって昭和33年6月3日(火)夕に前記四氏が再び上京し、銀座オリビック3階で東京山桜会第1回総会が38名集まり開かれしました。常任理事の皿井氏が事実上の事務局長を兼ねることになりました。

第2回総会も銀座オリビックで昭和34年5月22日(金)夕に開催され64名集まり明治年代卒業の大先輩から学院卒業後大学在学中の若手までを交えての親睦のときとなりました。総会は、開会の辞に始まり、庶務・会計の報告、来賓の挨拶および母校・山桜会の近況報告、出席者の5分間スピーチなどがあって閉会の辞で終わるのがその後の例になっています。

第3回総会は昭和35年5月25日(水)夕に銀座茶廊で行なわれ60名集まり

甲谷(岡本)富佐子氏[中2期]など5名の女性会員の初めての出席が会に華を添えました。その当時ビックリされたそうです。偕行社卒は、男性ばかりでしたので魚の目タカ目だったそうです。

かねてから私学での同窓会の重要性を説いてこられた片桐小学校長(大2~昭13年在職)は、東京山桜会の発足に際しては在京の卒業生に呼び掛けられ、ご高齢を押して第8回総会(昭和40年6月25日)までは毎回東京に足を運んでおられました。第32回平成元年の総会では田中美香氏[茨高31期]の箏曲演奏、第33回には西山(小松)恵子氏[小65期]の独唱と合唱指導があり総会を和ませてくださいました。第35回総会(平成4年6月6日)では田中稔氏[偕小35期]が会長に選出され、この時から総会時の来賓挨拶や懇親会席上でのスピーチだけでなく、まとまった講話をプログラムに加えることになり、ミニコンサートとおりまぜて企画するようになりました。第41回総会から前田卯一郎氏[偕小45期]が会長に、第43回総会では三宅彰氏にそして第50回総会では三宅彰氏から山本英二氏にバトンタッチされました。第44回総会から毎年秋の見学とグルメの会(偕行社小学校時代の名称に倣って、「郊外教授」と呼んでいる)が活動の一つに定着しました。田中稔氏の発案で自ら説明役を引き受けておられたのを平成14年以降、荒川良雄氏[中高4期]が引きつがれてくださっております。

50周年の記念コンサートとして、西山恵子氏(ソプラノ)と越智則英氏[中高15期](バリトン)によるコラボレーションコンサートがあり、美しい素晴らしい歌声に魅了され皆様さききいておられました。その後石井佳子氏[小68中高11期]が長年尽力されておられる記念写真があり、その後お食事が始まり盛大に和気あいあいと話しに花を咲かせもり上がりしました。

会員の方々の友愛の寄贈品をお楽しみジャンケンボンで、お選び頂きました。全員にいざわたりました。大先輩達のご好意により私が描いた油絵『お江戸日本橋(熙代勝覧)(ベルリン美術館所蔵江戸時代浮世絵巻物作者山東京伝らしいの一部を模写し自分が持っている猫9匹を描き自分なりにアレンジして色彩を明るく約300人の顔を楽しく描き模写した絵)』を総会の場に飾らせて頂きました。とても感激です。

偕行社付属小学校校歌・金剛石・追手門学院校歌を斉唱し皆様若々しく気品があふれて凛とし毅然とされ囀樂とされてパワフルであふれていらっしゃいました。これからも東京山桜会が何十年も何百年も100回、200回、300回と続いていきますように追手門学院の若い同窓生が集まり兄弟姉妹も連絡しあってたくさん参加して頂き若い世代へつなげていけるよう皆様願っておられます。学校、山桜会、東京山桜会、大先輩達、若い世代の会員達の健勝と繁栄を願い、ますます発展していきますようにコミュニケーションを活かしネットワークを広げ人生を豊かにしていきます。皆様ご協力どうぞよろしく願いいたします。

50周年!!めでたしめでたし!!

佐伯 文子[大中高19期]



東京通信

## 知名度向上に活躍する校長

東京台場「船の科学館」で8月4日より9月末迄開催の「うなぎ不思議」企画展に東京大学・東京海洋大学・日本を代表する研究者グループの末席でしたが、追手門学院大手前中・高校亀井哲夫校長の講演会が9月2日に開かれ、うなぎ研究学者・養鰻業者・水産関係者・愛好家が全国より集まり盛大に行なわれました。学校名表記の看板等で追手門学院の知名度向上に尽力されてる亀井校長の裏面に感激したことをご報告します。